令和４（２０２２）年度　校友会事業報告書

令和４年度の校友会実施事業については、コロナウィルス感染拡大が治まらず一部の事業について縮小、中止となった。

Ⅰ　主要会議

〇評議員会、理事会

第１回　令和４年　５月３１日（火）　ハイブリッド方式会議

第２回　令和４年１０月２６日（水）　ハイブリッド方式会議

第３回　令和５年　３月２２日（水）　ハイブリット方式会議

〇校友会総会

１１月６日（日）横国Ｄａｙ開催日に併せ都市科学部講義棟において実施。

〇専門委員会

・広報委員会はメール会議を２回開催

・総務・財務委員会はメール会議を１回開催

Ⅱ　主要事業実績

一部の事業が中止となったため、実施事業のみ掲載。

１．入学時関連事業

〇学事暦カレンダーの作成、送付

６，０００部作製。在学生には２月末、令和４年度新入生には５月に送付。

〇ノベルティー

令和４年度新入会員に記念品として贈呈する特性バインダー（校友会ロゴ入り）を作成。会員証の発行と併せて学生に配布した。

〇新入生歓迎会

学生幹事が中心となり７月８日（金）に規模を縮小して学生交流会として教育文化ホールにて開催。食事の提供はなし。約５０名の新入生が参加。

２．広報活動事業

〇会報誌第８号の発行

８月中旬に２８，５００部を作製。卒業生、在校生、各同窓会、教職員、校友会関係者に送付。

〇入会促進パンフレットの作成

校友会、同窓会への入会を促進するパンフレットを３，０００部作成し、合格者へ送付。

【参考】令和５年度　校友会・同窓会の加入率（令和５年５月１２日現在）

校友会　９２％　友松会　９３％　富丘会　８９％　名教自然会　９１％

３．学生活動支援事業

〇学生による地域課題解決支援事業

学生が自ら地域課題を発見し、地域と連携しながら課題解決に向かう２５プロジェクトを支援。

○学部共催講演会

令和４年度は５学部すべてで講演会が行われた。

教 育 学 部・・・工藤勇一氏（横浜創英中学・高等学校校長）

経 済 学 部・・・小野塚知二氏（東京大学特命教授）

経 営 学 部・・・赤本正憲氏（三菱電機（株）国際本部地域統括部担当部長）

理 工 学 部・・・渡邉正義氏（本学名誉教授、先進化学ｴﾈﾙｷﾞｰ研究ｾﾝﾀｰ長）

都市科学部 ・・・佐々木睦朗氏(佐々木睦朗構造計画研究所所長、法政大学名誉教授)

○キャリア教育支援

① 「グローバル化と日本人」

異文化理解とコミュニケーション力養成を狙いとした全学部対象の教養科目。

秋学期に対面（一部リモート）により実施した。

② 「グローバルビジネス実践論」

海外駐在経験者を講師としたグローバルに活躍できる人材養成を狙いとした全学部受講対象専門科目。秋学期にリモートにより実施した。

○スポーツ支援プロジェクト

令和３年度に顕著な成績を収めた課外活動団体３団体に対し副賞（活動奨励費）を１００，０００円贈呈したほか、フツトサル場人工芝、テニスコートの改修を行った。

※硬式野球部、アメリカンフットボール部、アカペラサークル

○ＹＮＵ横浜経営者の会連携講座

講座開設４年度目、「経営者が語るこれからの企業戦略・イノベーションと若者へのメッセージ」２年次生以上に秋学期リモートにより実施。

○就職支援活動

大学、同窓会との共催で実施。

○就職支援セミナー開催支援

マスコミ志望者に対するセミナーを実施。

４．全会員対象事業

○横国Ｄａｙ事業支援

１１月６日（日）規模を縮小し実施。交流会については第１食堂で開催。

○学生・ＯＢ／ＯＧ交流会（ヨココクツナガル）

学生幹事会が中心となり１１月２５日に実施。

○美術館・博物館キャンパスメンバーズ

国立美術館、東京国立博物館の年会費。

５．大学支援事業

○国大基金への寄附

４，６３８，０００円の寄附を行った。

○大学への寄附を募るパンフレットの作成経費の支援

寄附案内冊子２，０００部を印刷した他、ときわの森基金募集ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄの印刷。